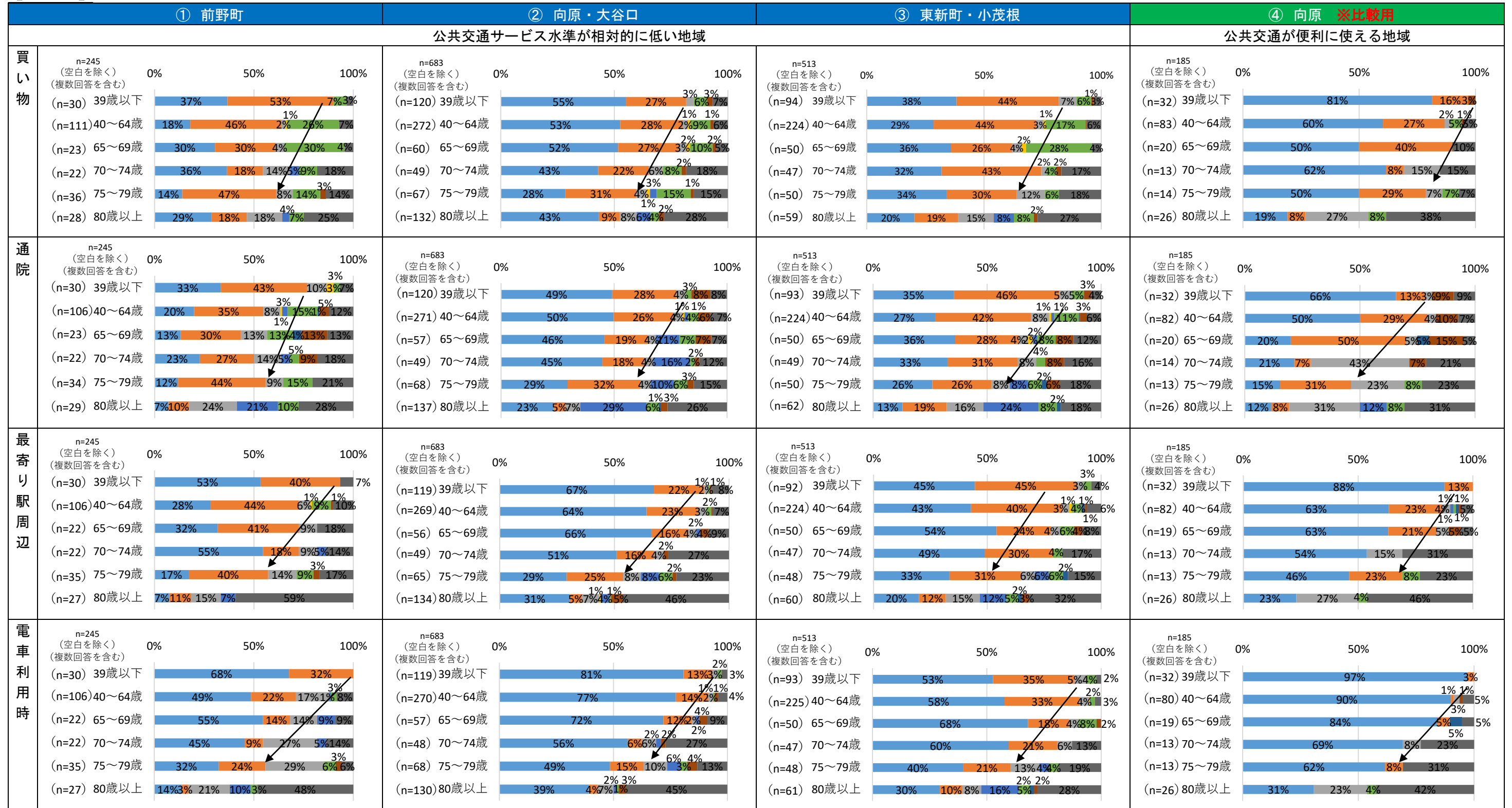


1 アンケート集計結果と地域の比較

① 【地域別】年齢別の移動手段

- ・年齢別の移動手段の傾向では、年齢が上がるにつれて歩歩や自転車や自家用車などの自力での移動から、バスやタクシーなどの割合が徐々に増加する ⇒ 高齢化に伴い公共交通を利用した移動に移行
- ・公共交通サービス水準が相対的に低い地域（①～③）では、歩歩の割合が低く、自転車や自家用車の割合が多く、通院目的において高齢者のタクシー利用が一定数見られる
- ・公共交通が便利に使える地域（④）では、歩歩の割合が多く、タクシーの利用があまりない。また、通院目的において高齢者のバス利用が多く見られる
- ・電車利用時の駅までの移動では、他の移動目的と比較して、自転車の割合が減少し、歩歩の割合が増加する

【移動手段】

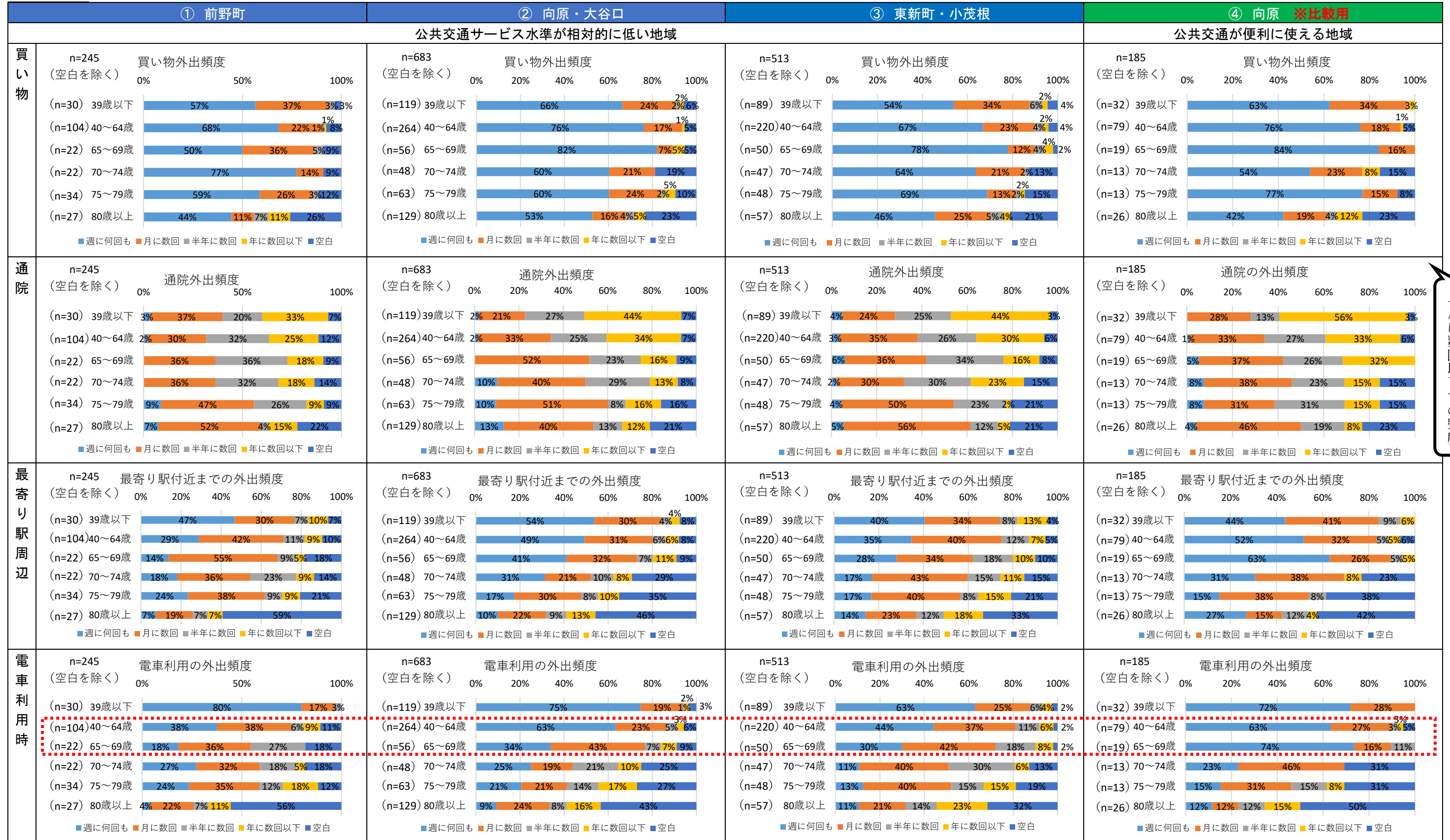


■歩歩 ■自転車 ■路線バスと歩歩 ■バイク ■タクシー ■自家用車（自宅の車） ■その他の車 ■その他 ■空白

② 目的別に見た外出頻度

- ・買い物目的の外出頻度は、地域別に大きな差はない。
- ・通院目的の外出頻度は、全体的に「月に数回」以下であり少ない。
- ・最寄り駅周辺への移動は、公共交通サービス水準が相対的に低い地域（①～③）では、公共交通が便利に使える地域（④）より頻度が少なめである。
- ・電車利用時の駅までの移動は、「40～69歳」で駅に近い地域の外出頻度が高く、電車移動を前提として駅に近い地域に住まいを求めている可能性が考えられる。

【外出頻度】

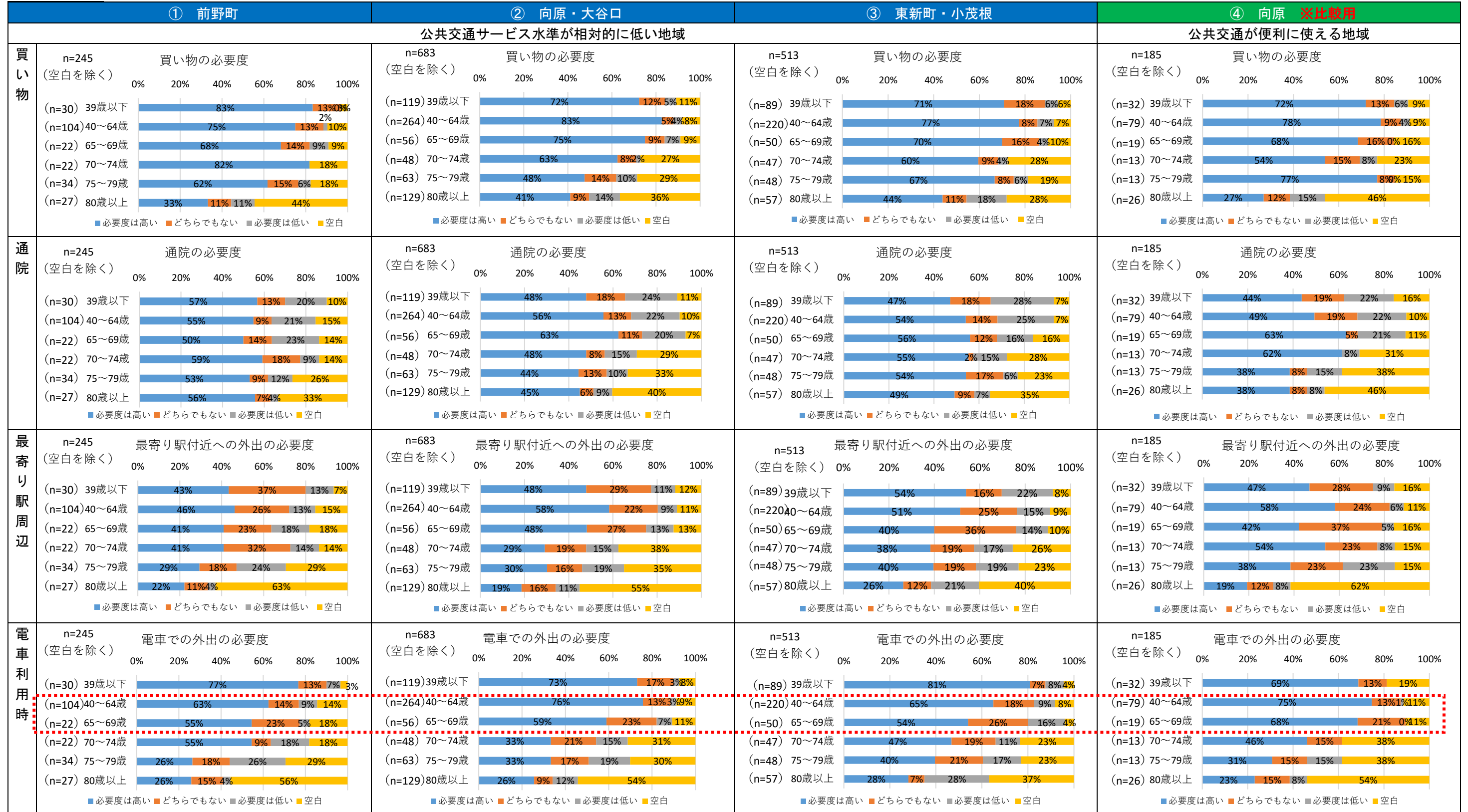


「月に数回以下」の頻度

③ 目的別に見た外出必要度

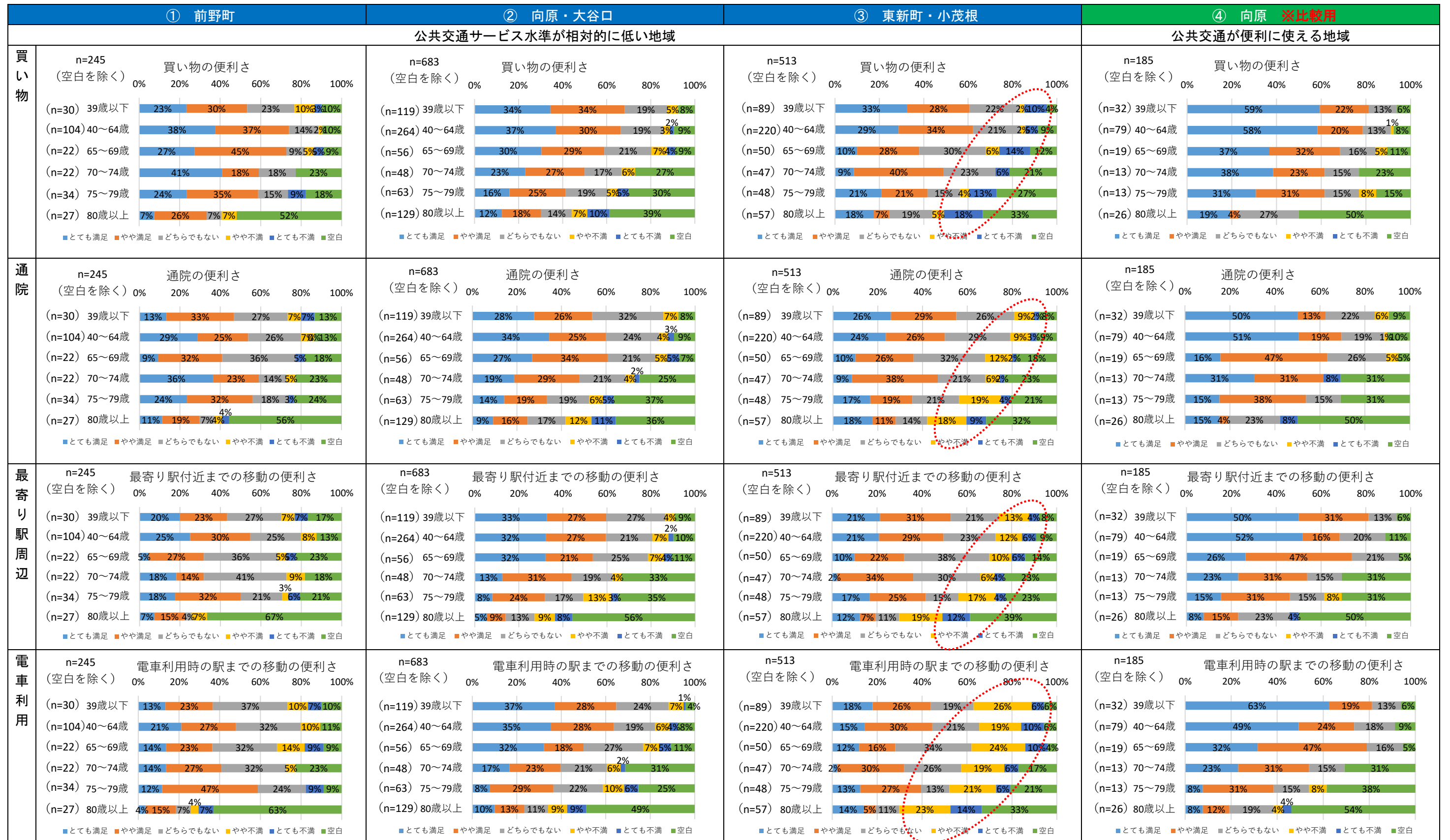
- ・全体的に、目的別も年齢別も、それぞれ地域間での大きな違いは見られない。
- ・高齢者（65歳以上）の外出必要度をみると、どの地域でも「買い物」「通院」の必要度は高いが、「最寄り駅周辺」「駅から電車での移動」の必要度は低めである。
- ・電車利用時の駅までの移動は、外出頻度で「40～69歳」に地域差があったが、必要度でも同様の傾向が見られる（駅からの距離が近い②と④が高め、①と③が若干低い）ことから、電車移動を前提として駅に近い地域に住まいを求めている可能性が考えられる。

【外出必要度】



④ 移動の便利さ

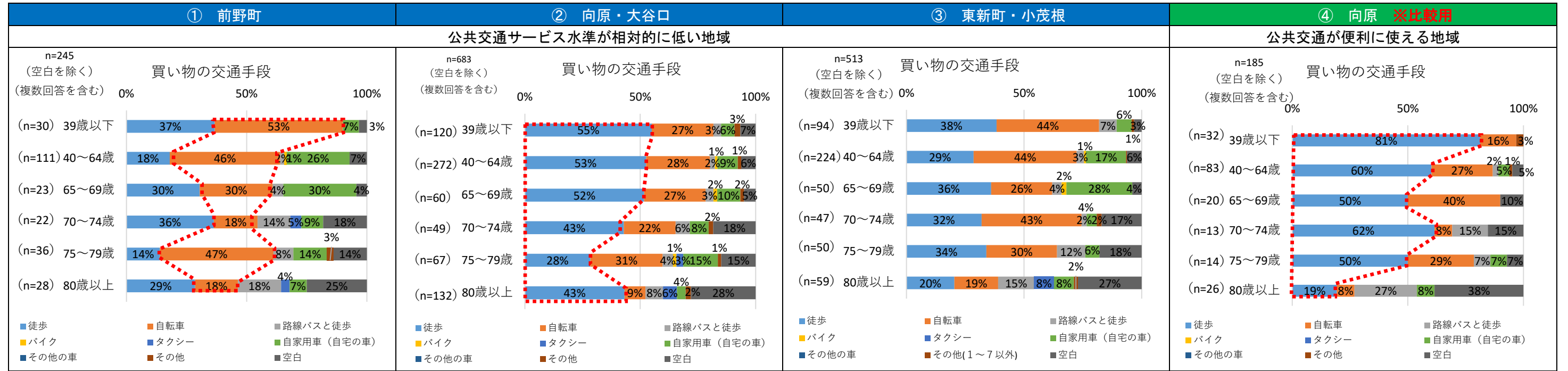
- ・移動の便利さを比較すると、公共交通サービス水準が相対的に低い地域（①～③）は一定数の やや不満、 不満の回答があるが、公共交通が便利に使える地域（④）では やや不満、 不満の回答がほとんどない。
- ・4地域を比較すると、どの移動目的でも③東新町・小茂根の やや不満、 不満の回答が多く、その中でも鉄道駅（電車移動）の移動に対する不満が高い傾向にある。



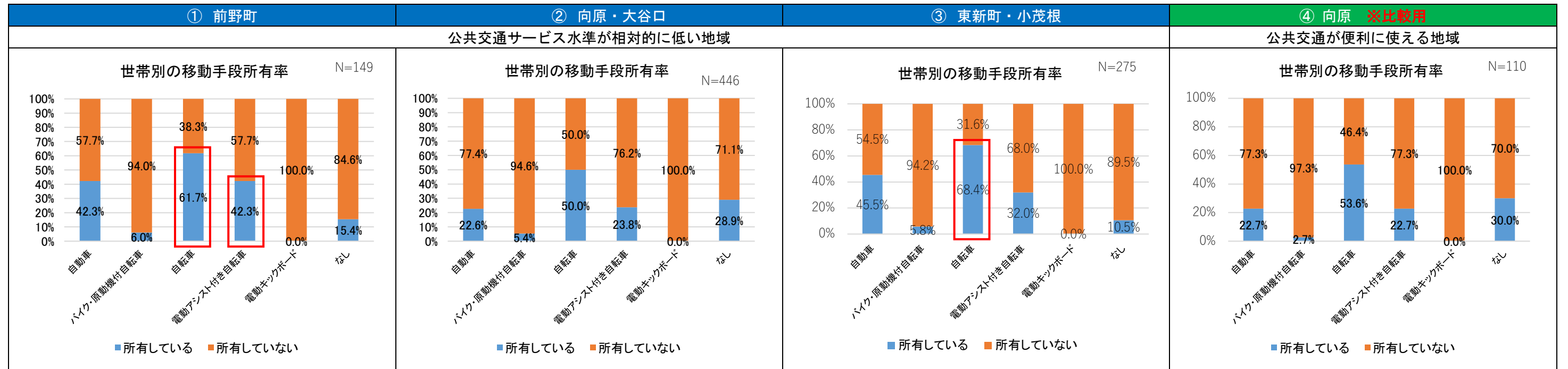
2 外出目的別の移動手段の地域比較

① 買い物の移動手段

- ・地域内に大きなスーパーがある②向原・大谷口や、近接して大きなスーパーのある④向原では徒歩での移動が多い。ただし、80歳以上の高齢者になると徒歩が減少し、路線バスが増えてくる。
- ・①前野町は地域内に買い物施設はないが、周辺に大きなスーパーが複数あるため自転車の移動割合が高い。
- ・③東新町・小茂根は、地域に近接してスーパーがあるが、周辺の大きなスーパーには若干距離があるため、徒歩と自転車の割合が同程度となっている。



世帯別の交通手段所有率を見ると、①前野町、③東新町・小茂根の自転車所有率が高く、特に①前野町の「電動アシスト付き自転車」の所有率が高い傾向。前野町では自転車圏域での買い物移動が多く、また高低差のある地形より電動アシスト付き自転車の所有が多い事が考えられる。



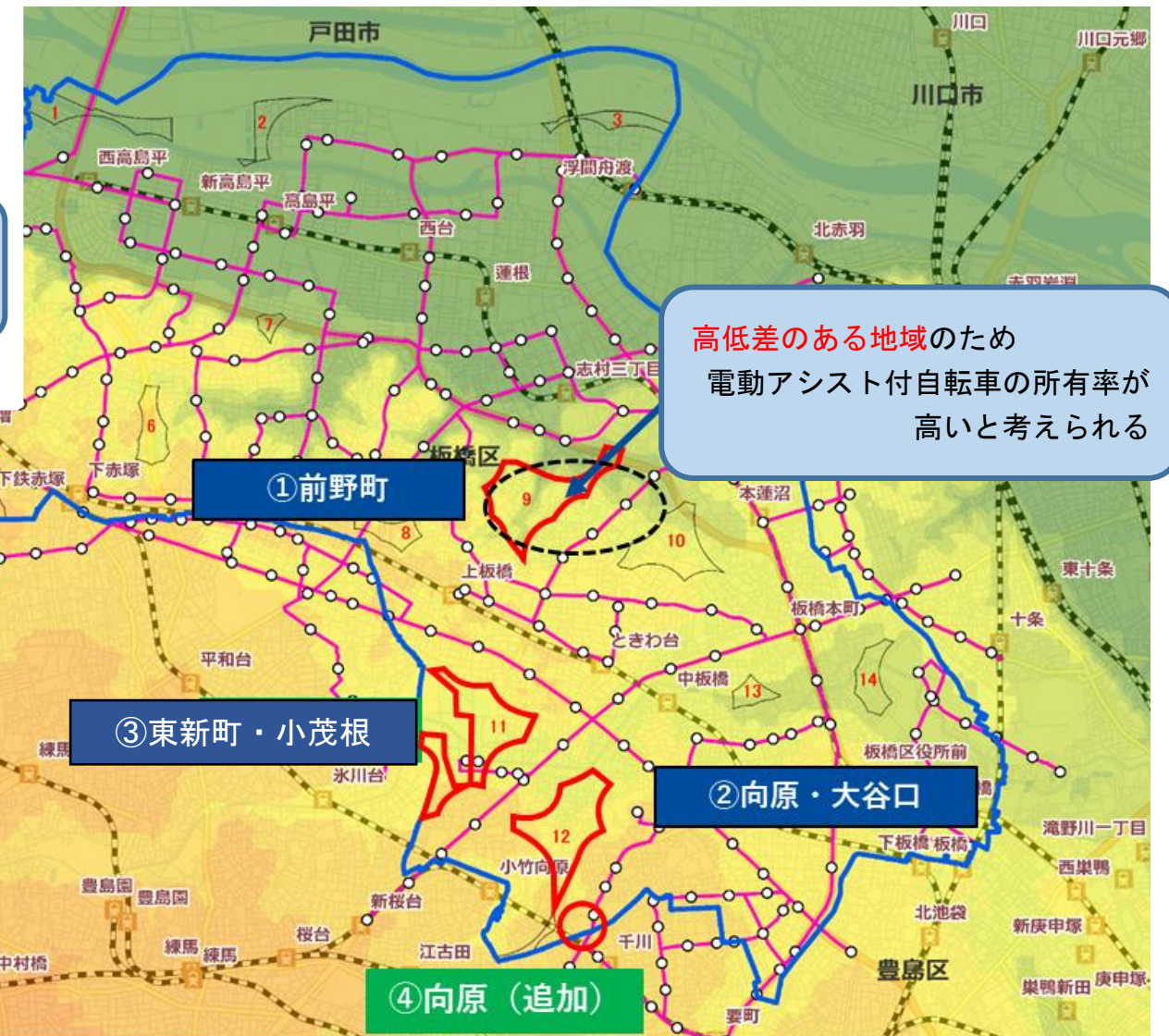
商業店舗



徒歩・自転車の移動圏内で、
複数の大規模商業施設（食品、日用品、衣料、家電など）があり、
買い物がしやすい環境にある

地域内にスーパーがあり、
徒歩で買い物がしやすい環境にある

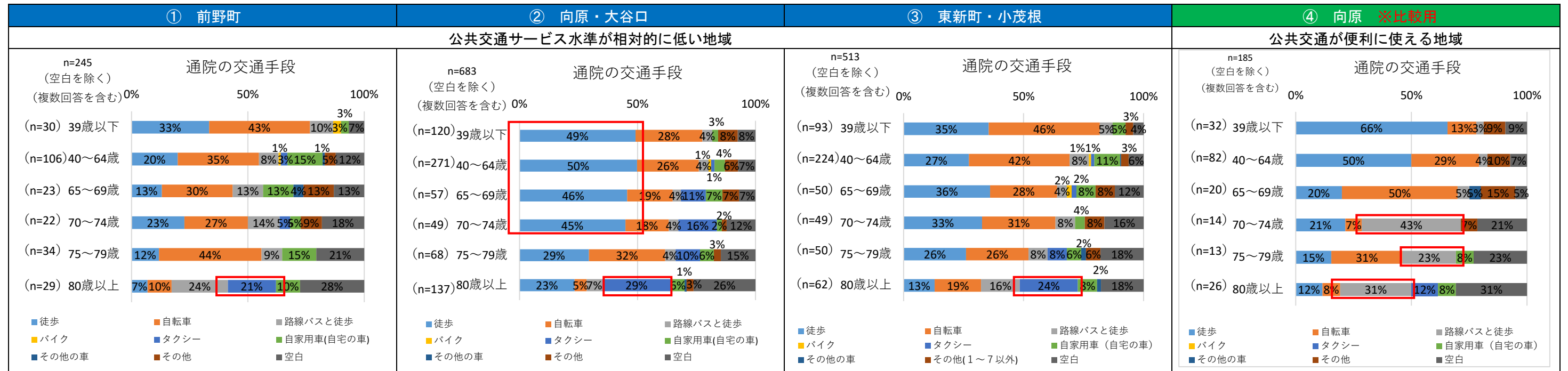
標高



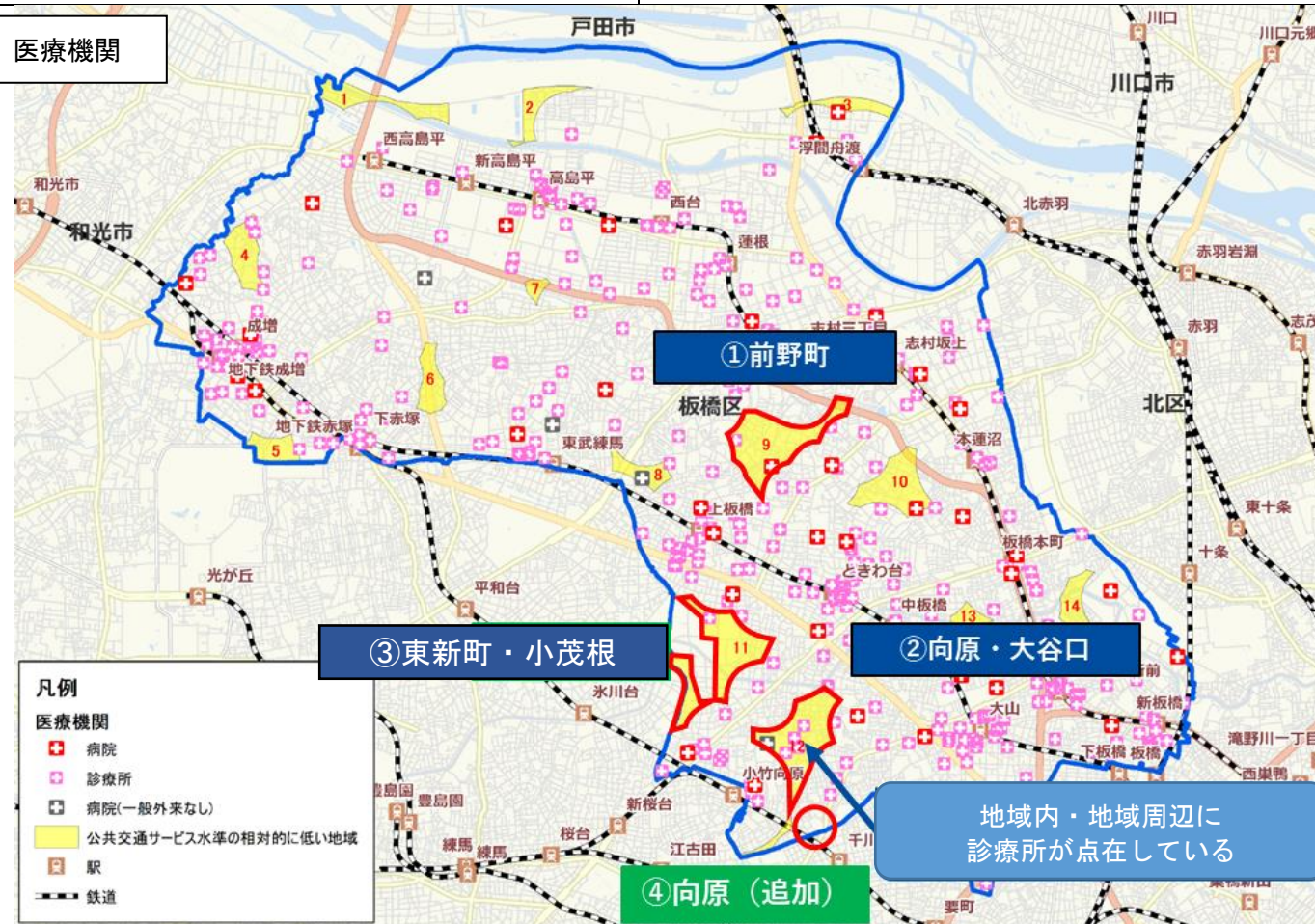
高低差のある地域のため
電動アシスト付自転車の所有率が
高いと考えられる

② 通院の移動手段

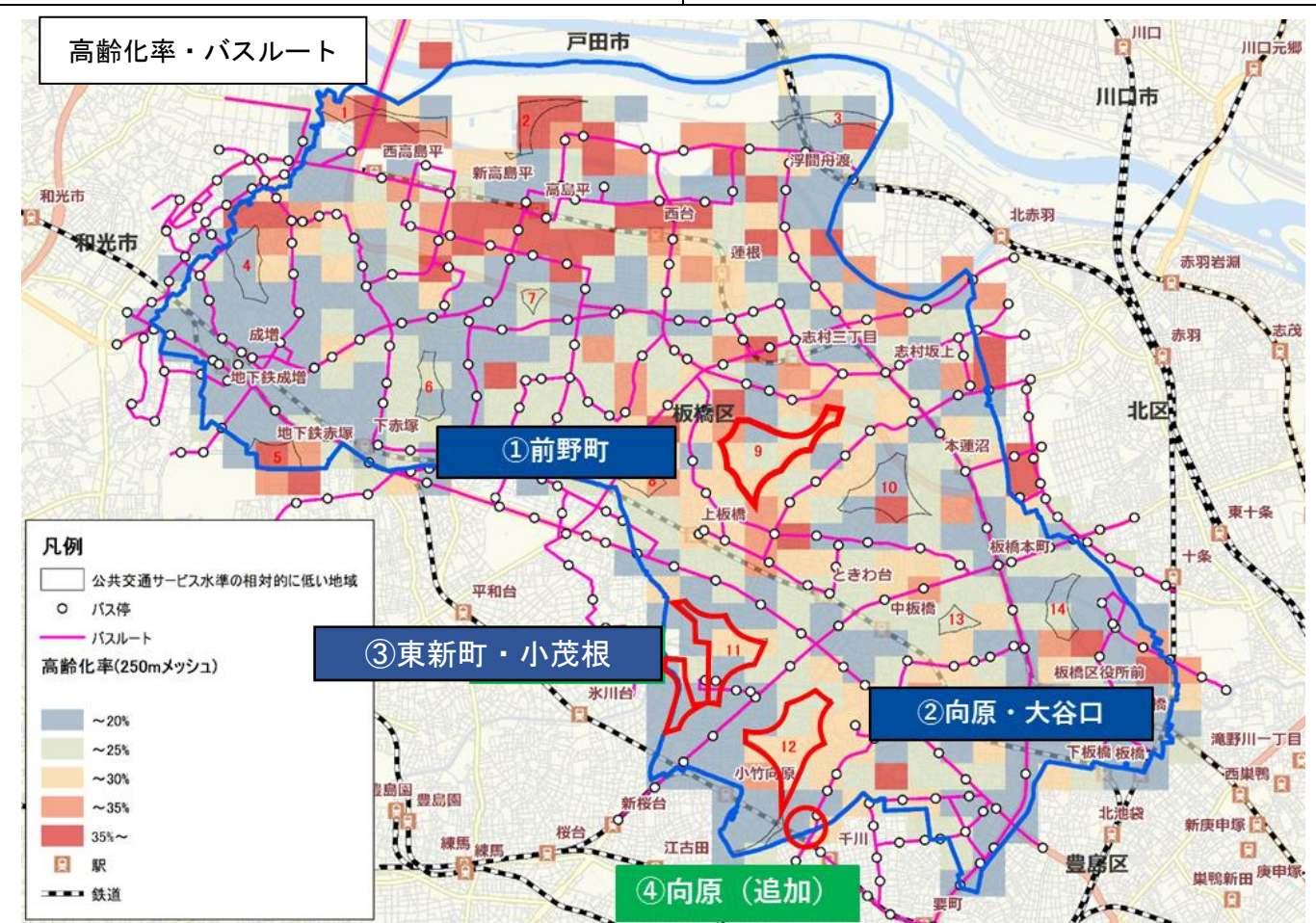
- ・通院の移動手段は、診療所、かかりつけ医、専門医、大規模な病院など目的地が多様であるため、地域性（施設の立地状況など）による傾向の把握は困難である。
- ・公共交通サービス水準が相対的に低い地域の①前野町、②向原・大谷口、③東新町・小茂根では、高齢者（特に80歳以上）のタクシー利用が多い。
- ・公共交通が便利に使える地域の④向原では、高齢者のタクシー利用が少なく、路線バスの利用が多い。
- ・②向原・大谷口では徒歩の割合が高い。



医療機関

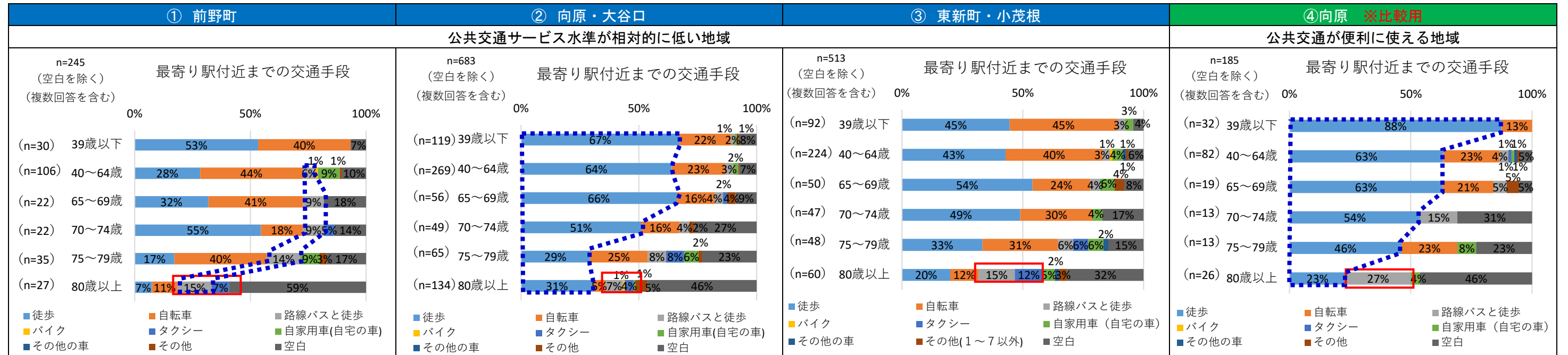


高齢化率・バスルート



③ 最寄り駅付近までの移動手段

- ・最寄り駅までの距離が比較的近い ②向原・大谷口 や ④向原 では徒歩の割合が高い。
- ・最寄り駅までの距離がある地域でも、バス路線がある ①前野町 ではバス利用が一定数あるが、バス路線のない ③東新町・小茂根 では徒歩や自転車が多くなっている。
- ・全体的に自転車の利用率は高く、駅付近の商業施設の駐輪場などを利用しやすい状況があると考えられる。
- ・年齢別の傾向をみると、年齢が高くなると徐々にバスやタクシーの利用率が上がる傾向にある。



④ 電車利用時の駅までの移動手段

- ・駅までの距離が比較的近い ②向原・大谷口 や ④向原 では徒歩の割合が高い。
- ・駅までの距離がある地域でも、バス路線がある ①前野町 ではバス利用が多く、バス路線のない ③東新町・小茂根 では徒歩や自転車が多くなっている。
- ・駅付近の用事に比べ、電車移動を目的とする移動では徒歩の割合が多い。駅付近の駐輪場確保、天候や荷物などを考慮し、自転車移動を選択していないと考えられる。
- ・年齢別の傾向をみると、年齢が高くなると路線バスやタクシーの利用率が上がる傾向にある。



目的地が類似していても移動目的によって移動手段が異なる
(自転車の利用率が変化)

